

## 平成27年度第1回 伊那市総合教育会議会議録

- ◎招集年月日 平成27年4月30日(木)
- ◎開催日時 平成27年6月11日(木) 午前11時～12時18分
- ◎場 所 伊那市役所 502会議室
- ◎出席者 白鳥市長、松田教育委員長、宮脇教育委員長職務代理者、平澤教育委員、田畑教育委員
- ◎欠席者 なし
- ◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、  
捧文化振興課長、酒井スポーツ振興課長、森田高遠長谷教育振興課長、  
中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

### 1 開 会

大住教育次長

皆さん、こんにちは。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきます、初めての伊那市総合教育会議ということで招集させていただきました。ただ今から伊那市総合教育会議を開催させていただきます。初めに白鳥市長からごあいさついたします。

### 2 市長あいさつ

白鳥市長

こんにちは。いよいよ梅雨入りということで、季節の暦が確実に動いているなあという感じがいたします。今日は、伊那市の総合教育会議の第1回目ということで、ご参加いただきました。この法律は4月1日に改正されまして、教育に関する組織、運営に関して方向転換されたということでもあります。とはいえ、伊那市におきましてはいち早く、私と教育委員の皆さんとは、前々から年に複数回会議を持ちながらいろいろな情報を共有し、また、課題を解決するための議論を重ねてきておりますので、ある意味、今回の国の法改正を先んじて取り組んできたのが、この伊那市であるとも言えるかと思えます。新しい制度におきましては、首長と教育委員会が協議、調整することによって教育施策の方向性を共有するという、また、総合教育会議を設置するということですので、そうした意味においては第1回目になろうかと思えます。また、伊那市におきましては、この秋を目途にして、伊那市の地方創生総合戦略審議会を設置して、地方創生総合戦略に関する策定を行うという取り組みが始まります。特に地方の時代と言われながら、何年も言われているんですけども、決して国のそうした方向性、舵が切られているとは思えないような時代が続いたんですが、いよいよ今回、地方創生ということで、私たち自身がしっかりと地に足をつけて、地方からいろんなものを発信していく時代に入ったと思えます。是非教育委員会の皆様方と一緒に、地域の子どもの夢の実現、或いは、生きる力をしっかりとつける。また、郷土に対する愛情、愛着を持てるような子どもを育てる。ひいてはそうした子供たちがこの地域に生きて、日本を引っ張っていく。また、世界に飛び出していけるような、そんな子どもたちの教育が実現できるように、是非とも教育委員の皆様方のお知恵とお力をお借りしたいと思います。ある意味、会議の中身が今までやってきたことの延長線になるかも知れませんが、それはそれとしていいことだと思いますので、忌憚のないご意見をいただいて、この地域が、上伊那、伊那谷、長野県のリーダー的な存在

として、存在し得ることを期待したいと思います。これからの皆様の活躍をご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

大住教育次長

続きまして、松田教育委員長からごあいさつをお願いします。

### 3 教育委員長あいさつ

松田教育委員長

教育委員会を代表して、一言ごあいさつ申し上げます。昨日、伊那市の教育委員会が最重要事業として取り組んでおります「暮らしのなかの食」の今年度事例発表していただく学校を参観させていただきました。いずれの学校も大変真摯に取り組んでくださっておりまして、大変有り難いなあとというふうに思っております。耕す耕地も思ったより大きいところを確保して、取り組んでくださっております。また、この事業が流されていかないようにするために、理論的なところを支えていくことが大事なんですけど、そこの指導者に当代一流の哲学者であります内山節先生を招聘することができるようになりました。この7月の9日に初めて来伊いただけるということになりました。こういうことができましたのも、市長それから教育委員会が今まで連携を取って進めてきた結果であるというふうに思っています。これから総合教育会議という形になりますけれど、今までと変わらず、連携を密にいたしまして、伊那市の教育の一層の充実が図られることをお願いしましてあいさつとさせていただきます。よろしくをお願いします。

大住教育次長

続いて協議事項に入りますが、この総合教育会議は、地方公共団体の長が招集するというようになっておりますので、協議事項につきまして市長の進行でお願いいたします。

### 4 協議事項

白鳥市長

それでは私の方で進めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。まず、伊那市総合教育会議の設置及び運営について、事務局から説明をお願いいたします。

#### (1) 伊那市総合教育会議の設置及び運営について

北野学校教育課長

資料1の1ページをご覧くださいと思います。こちらは地方教育行政の組織及び運営に関する法律から総合教育会議に関連する部分を抜粋してあります。まず第1条の3（大綱の策定等）であります。こちらにつきましては、協議事項の2で詳細を説明させていただきます。第1条の4（総合教育会議）でございますが、第1条の4、1項としまして、「地方公共団体の長は、大綱の策定に関する協議及び次に掲げる事項についての協議並びにこれらに関する次項各号に掲げる構成員の事務の調整を行うため、総合教育会議を設けるものとする。」とされております。1号としまして「教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策」。2号としまして「児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の

緊急の場合に講ずべき措置」ということをございます。2項としまして、ご案内のとおり総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が構成することとなっております。この改正を受けまして2ページをご覧いただきたいと思ひます。この度、伊那市総合教育会議設置要綱ということて定めさせていただきますところてございます。こちら第1条の(設置)てございますて、この告示は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づき、市長と教育委員会が相互に連携を図り、本市の教育の課題及び目指す姿を共有しながら教育行政を推進していくため、伊那市総合教育会議を置くということてございます。第2条の(所掌事務)につきては、先ほど申し上げました法第1条の4第1項て規定する事項とするものてございます。第3条(構成員)は、ご覧のとおりてございます。第4条の(会議)は、1項として、市長が招集するものとし、2項では教育委員会から招集を求めることができることとされています。また、3項て会議における調整結果の尊重が謳われております。また、5条(意見の聴取)てございますて、必要にんじ、関係者等の意見の聴取も可能であること。また、6条の(会議の公開)では原則公開するものとするということてございます。また、7条のところでは、(議事録の作成及び公表)について定めてございます。3ページに移りまして、第8条の(事務局等)てございますて、会議の事務局は総務部総務課に置き、会議の運営は教育委員会事務局学校教育課が行うものとするものてございます。この告示につきては、本日6月11日から施行するものてございます。以上総合教育会議の設置及び運営について説明させていただきます。

白鳥市長

今の説明につきては何かご意見等ありましたらお願いいたします。

松田教育委員長

3ページの(事務局等)の第8条なんですけども、会議の事務局は総務部総務課に置くということなんですて、運営については教育委員会事務局学校教育課が行うものとするというふうにしていただいておりますので、是非このように定めていただきまして、事務につきては教育委員会が主体になりまして行えるようよろしくお願ひいしたいと思ひます。

白鳥市長

これってあれだよ。総務部は全然今日来ていないよ。

北野学校教育課長

そうですね。こちらが主体で開催しております。

白鳥市長

まあ、あれか。実質変わらないもんね。

松田教育委員長

こういうふうて定めていただくことに意味がある。大きいことだと思ひますので、非常にありがたく思っております。

白鳥市長

ほかにはどうでしょう。

白鳥市長

今日、ほかにもいろいろ議題ってないの。議題とかあるんだけど。現場の話の情報の交換であるとか。

北野学校教育課長

それは、是非この後の日程以降の項目の中で、お出しただけだと思います。

## (2) 教育大綱について

白鳥市長

では教育大綱について事務局から説明をお願いします。

北野学校教育課長

それでは教育大綱についてということで、4ページをご覧ください。本日の主要な議題になるかと思われま。大綱の策定について、関係法令の規定をご紹介します。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3では、地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の实情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとするとしてされています。また、地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ総合教育会議において協議するものとするとしてされています。なお、教育基本法による国の教育振興基本計画ですが、平成25年6月に閣議決定されまして、29年までの第2期計画が現在進行しているところでございます。大綱の期間についての考え方でございますが、法律では定められておりません。ただし、地方公共団体の長の任期が4年であることや、国の教育振興基本計画の対象期間が5年であることに鑑みまして、4～5年程度を想定しているというものでございます。また、3番目、大綱の主たる記載事項でございますが、基本的には、各地方公共団体に委ねられているんですが、主として、学校の耐震化、学校の統廃合等例示列挙されています。いずれにしても予算や条例等、教育委員会の職務権限を除いて、地方公共団体の長の有する権限に係る事項についての目標や根本となる方針の設定が考えられるというものでございます。また、4番目としまして、大綱と地方教育振興計画（総合計画）との関係でございますが、地方公共団体において、先程の教育基本法に規定する教育振興基本計画その他の計画を定めている場合には、その中の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置付けることができると考えられることから、地方公共団体の長が、総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、当該計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はないというふうにされています。そこで、その他の計画にあたります伊那市の計画になるわけですが、一番下になります。現在、伊那市総合計画の後期基本計画が定められています。こちらにつきましては、平成26年3月に、平成26年度から平成30年度の5年間を計画期間として策定されているものでございます。こちらについて説明させていただきます。資料の2をご覧くださいと思います。こちら伊那市総合計画の後期基本計画に掲げられています教育に関す

る施策の内容でございます。基本目標としましては「歴史と文化を大切にした人を育むまちづくり」とされておりまして、主要施策・方針では、「学校教育の充実」として、「個性や豊かな人間性を育む学校教育の推進」続いて、「高校教育・大学教育との連携」「心の教育及び支援体制の充実」がございまして、「生涯学習・文化芸術の振興」というところでは、「生涯学習の振興」「青少年健全育成と家庭教育の充実」また「文化の振興」が掲げられています。「文化財の保存・継承・活用」では、「文化財の保存・継承・活用」ということで挙げられております。「スポーツ・レクリエーションの振興」では、「豊かなスポーツライフの実現」として主要施策に挙げられております。同じ資料の2枚おめくりいただきまして、117ページからは、この各施策の具体的な展開、事業の展開等が掲げられています。本日は説明を省略させていただきますが、ご覧のような内容の総合計画後期基本計画が教育関係として策定されているところでございます。そこで本日の伊那市の教育大綱の策定に関することになるわけですが、伊那市総合計画後期基本計画、今ご紹介させていただきました。こちらが26年3月策定ということで、白鳥市長が策定したものであること、また、残り4年の計画期間を残していることから、後程市長からも提案があると思っておりますが、これを伊那市の教育大綱として位置づけることを事務局としては考えているところでございます。また、その上でということになりますが、教育行政につきましても、時々、役割、あり方等変容してくるところでございます。また、市長の思い、考えも毎年の運営方針、こちらに反映させることも必要であろうということで、本日、資料1の5ページ、6ページになりますが、案といたしまして伊那市教育委員会運営方針をお示ししているところでございます。このあたりにつきましてもこの総合教育会議での協議・調整を踏まえまして、教育委員会が毎年定めていくことが適切ではないかと考えているところです。以上大きく大綱の策定について、また、本年度の運営方針をご協議いただきたいと思います。

白鳥市長

ただ今の説明でありますけれども、ご質問等ありましたらお願いいたします。

白鳥市長

今、保育園で伊那市の子どもたち「がるがるっこ」って始めたんですね。知りたがるとか、何とかがるとか、それを「がるがるっこ」って言って、そういうのが子どもたちの学校へ上がる前の子どもたち、そのことも教育の中に含めて考えてもらいたいと思います。伊那市の保育園の基本的な考えっていうのは、物事に対していろいろな興味をしっかりと持てるような子どもたちを作りたいと、小っちゃいうちから。その延長に小学校中学校があるんだよということなので、学校と保育園は別物ではなく繋がっているんだという意識の中で、この大綱を進めていってほしいという思いがありまして、そんなことを含めてご意見をいただければと思います。

松田教育委員長

こちら（総合計画後期基本計画）がその元だと思っておりますけど、これを作成するに当たっては、様々な分野の市民の皆さんに参画していただいて、熟議に熟議を重ねて作られたものでありまして、中を読んでみますと大変うまくできているなあと思っておりますので、これを大綱にしていくことが適切ではないかと思っております。ただし、年々子どもたちの状況や地域の状況、或いは、教育委員会の置かれている状況が変わってき

ますので、今、市長さん言われたように保小連携というようなことも大事に考えていかなければいけませんので、その年度、年度で更に重点を考えていくような形にしていくことがより一層充実していくんじゃないかなあとと思います。それで、資料1の5ページのところに27年度伊那市教育委員会の運営方針（案）というのがありますけど、毎年教育委員長というのは任期が1年なもんですから、再選されたときに本年度の方針を委員長案として出すんです。それを定例の教育委員会で確認していただいて、今年1年の教育委員会の方針として確認し、今までやってきました。それで、この方針案を毎年作成して、この総合教育会議で検討し、この1年を通して充実していくという方向で持っていくのが、今までの流れからしていいんじゃないかなあと思っていますので、ほかの委員さんも御意見があれば出していただきたいと思います。あっ、私が司会しちゃいけない。

白鳥市長

どうでしょうか。

北原教育長

まず、運営方針については委員長の言われたとおりかなと思うんですけど、大綱ですけれども、やはり熟慮されて作られたものですので、これを基にした大綱ということでもよろしいかなあとと思うんですが、先ほど市長の言われた保小の連携ですね。知りたがるとか、面白がるとか「がるがるっこ」のがるをどう繋いでいくかっていうことで、保育園から小学校へのアプローチカリキュラム、小学校では入学した時にスタートカリキュラムということで、その最初のところに、学校探検とか生活や国語や算数とかお話を作るとか春を楽しむとか、こういうことを大事にしております、そのところは大綱の1番の2行目あたりにもありますが、一番は自ら学び自ら考えなんですけれども、具体的には地域の自然とかそれぞれに根ざした教育、こういうところにも含まれて今後大事に考えていかれるというふうに捉えられるかなあとと思います。是非大事にしていきたいと思えます。

白鳥市長

ほかはどうでしょうか。これは伊那市の基本計画、この中から抜粋してあるけど、正式に作る時にはグラフの数字であるとか、例えば124ページの不登校の割合、小学校、中学校、目標30年度。23年度の数字はいいんだけど、24、25、26年度の数字はどう変化してきているというのは変えてくるんだよね。

北野学校教育課長

この計画では30年度が到達目標となっていますが、毎年の状況はもちろん把握していますし、それに応じた対応はしております。

白鳥市長

大綱を作るについて、それは過去のデータしかないというのではなくて、今の最新のデータは分かるんでしょ。最初の23年度というのはいいいんだけど、今年度作る大綱だもんで、平成26年度までどういう推移になっていて、目標に対してどうなのかというのを分かるようにしておかないと、古いものをポンと出したって、図書館利用だっただけだよね。これが今どうなっているのか最新版のものを作る。

北野学校教育課長

はい、それは推移を示すことはできます。

白鳥市長

しないといけないと思うんだよね。作るんだけど、市っていうのは作ったままで、その後検証しないんだよね。それは、どういう数字の推移になっていて、目標に対して達成していないので、どういう手当をするかというのをそういうのを丁寧にやっていかないと結果として「できませんでした。」理由は「よく分かりません。」じゃ困るので、そこのところは是非やってもらいたい。最新のデータと作った時から今日に至るまでどういう変化をしてきているか。目標に対して遅れているのであればどういうフォローをしていくのかをこの場で話をしていく。

松田教育委員長

不登校、いじめとかそういうものについては、指導主事がデータを取っておりまして、毎月の定例教育委員会で報告があり、そのデータを見ながらどういうふうにして対策ができるのか議論を重ねていますので、データそのものもありますし重ねてきた議論もありますので、そうしたものを見えるようにしていかなければならないと思いますので、その部分は是非事務局の方で作っていただきます。

白鳥市長

はい。すぐにできるよね。次回までにできるよね。先延ばしにしちゃいかんし。

白鳥市長

耐震化はどうだったっけ。今は100%なんだけど、非構造部材もあるものでそれを載せていかなきゃいけないよね。

白鳥市長

どうでしょうか。ほかに気のついたことがあればお願いしたいと思います。

白鳥市長

ジオとかエコパークというのはこの当時なかったよねえ。そういうのはどういう扱いになっているの。

北野学校教育課長

例えば、毎年の教育委員会の方針のところに計画として位置づけるというような形でよろしいのではないかと思います。

白鳥市長

大綱の中に入ってくるということ。

北野学校教育課長

大綱は大綱として、毎年の、今回で言いますと27年度運営方針に重点項目として位置づけるということがよろしいかと思います。

白鳥市長

この中にその文言はなくてもいいの。

北野学校教育課長

あくまでこれは26年に作った基本計画を基にした大綱は大綱として、ただ、日々いろいろな課題が出てまいりますので、それを毎年度の運営方針に活かしていくという流れです。

白鳥市長

来年度の運営方針。

北野学校教育課長

はい、こちらが案になります。

白鳥市長

そうであれば、今から入れたらどうかということ。

北野学校教委課長

もちろんそれは、今日、議論していただいて、あくまでこれは案ですので。市長のお考えで、個別の課題がありましたらご協議いただきたいと思います。

北原教育長

ちょっとよろしいですか。教育委員会の時に話したことは、大綱はこの1ページの1枚、大綱は1枚。この後ろは資料ということではよろしいですか。後ろまで含めて全部が大綱ですか。

北野学校教委課長

大綱は1枚です。施策の展開の部分は資料の扱いになります。

北原教育長

この中に全て含まれると、従って先程言われたような内容についても常に最新にしていくんですけど、大綱としてはこの1枚。

大住教育次長

いわゆる理念的なもの、大きなくくりの教育に対する考え方、施政方針ですね。

白鳥市長

この後ろは何。

大住教育次長

総合計画をそのままコピーしたものです。

白鳥市長



全部資料。

北原教育長

そうですね。資料2の後ろに行っちゃっている。

白鳥市長

で、運営方針であればこの中に具体的に、ジオとかエコとかこっち側の中に入ってくるということだね。

北野学校教育課長

はい。

松田教育委員長

こちらについてもいいですか。

白鳥市長

大綱については、いいですかねこれで。私の方からの提案とすると、大綱については資料2の1ページの1枚でいいかどうかということと、これを基にして総合教育会議での協議調整を踏まえて毎年度の運営方針を決めていきたいと思いますということですね。で、こちらへ行くという流れでよろしいでしょうか。それでは大綱はこういう内容で進めていきます。それでは、「平成27年度伊那市教育委員会運営方針について」を次の議題にしたいと思います。

北野学校教育課長

それでは、資料1の5ページから6ページになります。本年度、松田委員長が運営方針(案)ということでまとめていただいております。大きく、伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」から2番目、伊那市の教育目標「歴史と文化を大切にした人を育むまちづくり」6ページに移りまして、平成27年度教育委員会重要施策ということで、ここでは8項目掲げてあります。このあたりを是非ご議論いただきまして、追加するもの等をお示し協議いただく中で運営方針を決定していきたいというものでございます。

白鳥市長

それでは、松田教育委員長から説明していただいているいいですか。

松田教育委員長

まず、理念ですけれど、「はじめに子どもありき」ということで、伊那市の大事な考え方ということで進めてきていますけど、これは子どもをどのように観るかという子ども観の問題でして、そこにあります「未完の姿で完結している」というこの文書を基に考えているわけですが、下に2つありまして「児童・生徒は人として尊ばれる。」2つ目に「児童・生徒は無為にして今そこにいるのではない。たえず求め続けている存在である。」先ほど子どもたちがなぜ、どうしてということをお話しましたが、全くその通りだというふうに思います。2つ目に伊那市の教育目標は「歴史と文化を大

切にした人を育むまちづくり」ということで、学校教育における務め、社会教育における務め、スポーツ振興における務めについてここに示してある通りです。これらを基にして運営をしているわけですが、めくっていただきまして、今年度の重要な施策のひとつは、総合教育会議を教育行政の政治的中立、継続性、安定性を不易とする会議として育むことに努めるということでもあります。この政治的中立とか継続性とか安定性を不易とするための方策は、合議によるということに尽きると思いますので、互いに意見を活発に出し合って伊那市の教育を考えていくということになるかと思えます。2つ目に伊那市の学校給食の食農体験事業、これは先ほど言いましたように伊那市の教育委員会の最重要事業として取り組んでいるところでございます。具体的には定例の委員会において、指導主事により学校の活動状況を報告していただくことを常態化する。校長教頭会などで常に話題にする。それから教育委員が実際に現場に行き見て、そして検証していく。それから先ほど申しましたように内山先生の指導を仰ぐ。それから県でも大事にしている信州型コミュニティ・スクールの柱のひとつにこのことを位置づけていく。伊那市らしさを醸し出していくことがいいのではないかと考えています。それから子どもが集う公民館ということが伊那市の場合、ほぼ定着してきていると思えますけど、ここに更に「暮らしのなかの食」が入って行ったら有り難いなあというふうに思っています。3つ目にICTを活用したバーチャル学区ネットワークへの取り組みの研究でありますけど、伊那市には極めて優れた教師が大勢います。そうした先生方の授業をICTを使って学べるようになったらいいなと思えます。また、他校との交流及び連携の推進をこのことを通して行えたらいいなと思っています。4つ目は、伊那市の「古い地名調査」の推進ですけれども、地名は単なる記号ではなく、そこに暮らしてきた人々の知恵、郷土への誇り、地域としてのまとまりの象徴としての深い意味がありますし、また、地形が示す暮らしへの警鐘など深い教えがある。このことを大事に捉えまして、地域理解を深めるとともに将来を思考する財産としていかなければいけないと思えます。5つ目に、新年度から文化振興課ができたわけですが、6館1センター統一事業の推進をこの課を中心に是非進めていただきたいということがひとつと、28年度に「中村不折展」が計画されていますけど、6館1センターで統一の展覧会が行われていくというために今年度から準備を進めていく必要があると思えます。それから、スポーツ振興の充実ですが、子どもたちのスポーツ離れ、或いは体力の低下が課題となっていますので、下に掲げてあります「ソフトボールのまち」「春の高校駅伝のまち」などの一層の充実に努め、スポーツへの関心・興味を高めていくということ。それから、市民体育祭等を考えて地域社会における児童・生徒のスポーツ参加の推進を図っていく。それから7番目に、「親孝行の賛歌事業」が今年行われるわけですが、紅葉の時期に設定しました。このことを通して、伊那市を広く発信できるような事業となるように取り組みを進めます。それから、教育委員会自らの活動の充実と発信ですが、そこに書いてあるようなことに努めていきたいということで、前回の教育委員会で提出し、協議していただきましたが、更にこれに付け加えていただくことについて、お出しただけならばと思えますので、よろしくお願ひします。

白鳥市長

はい、今説明をしていただいたんですけれどもどうでしょうかね。私が最初に言った例えばジオ、エコを入れた方がいいんじゃないとか、それぞれお出しただきたいんですけれど。それと私、もうひとつ人口増に教育は絶対プラスになると思ってい

るので、そうしたことを何かできないかなあと、例えば、伊那小学校の授業を受けさせたくてこちらに来るといふ方が一杯いるんですよ。そういうような発信の仕方ができれば、今新山小学校はだんだん増えている。そういうところも吸引力というか、情報発信して教育をして人々を動かすといふか、そんなことができればいいんじゃないかと思ったりしているの、他にもあれば出していただいて、これに付け加えたり、或いは修正があれば修正していただいたりといふことだと思ふんですがどうでしょう。

#### 田畑委員

立場的にキャリア教育、標題の2の(1)のところにもキャリア教育等の充実といふことで書いていただいているんですけど、産業界を中心に先ほどの人口増といふ部分の中で、結局教育がよくて地方から入ってきたいと思つても、結局働く場所がなければ生活の拠点が築けないといふ部分の中で、やはり教育と家庭環境を考えた時に、やはり産業界のエネルギーも協働の中に入つて行つてもらふことが大事になってきているなあと思つていまして、学校の授業の中ではもう各校確実に取り組んでいただいて、キャリア教育の充実を図っているんですけども、教育委員会、行政として産学官のバランスの中に働きかけをしていくことが、まあ今もやられているんですけど、もし、具体的な重点施策の中に名前として入つてくるだけで、産業界の人たちが感覚的に見る目も変わってくるといふことがあるかと思ふので、新しい動きではないですけど敢えて今やっているものをより充実するといふことで書いていただくとよりいいのかなあと思ふます。実は、5月26日の日に産業界が旗振り役でスタートした第2回目の交流会があつたんですが、開催地を伊那市から箕輪に移して8市町村の教育長に参加していただいて、産学官の2回目の交流会が実施されました。規模としてはそれぞれ50名単位の招集といふことで、150数名規模でやられたんですけど、やはり新しい発見と気づきがあつたのと、そこでも言われたのは、伊那市教育委員会の中にはキャリア教育推進協議会といふものが常設されていて、そこに追随する市町村で、ある市町村なんかはないので今年何としても作りますみたいな動きもあつて、ある意味、リーディングしていく市町村にキャリア教育では上伊那の中では伊那市は間違いなくなつているので、よりその辺をアピールする意味でも活動の施策として挙げておいていただくと、より動きやすくなるのかなと思つていまして。

#### 白鳥市長

キャリア教育、確かに重要な部分でありますので、キャリア教育をこの中に入れていくといふ話ですが、それに対してご意見はありますか。経済界、産業界が一緒になつて伊那の教育、上伊那の教育に対して、一緒になつて考えていくことをやっておりますので、この流れっていふのはこの地域ならではの部分だと思ふますので、そうした人口増といふ部分もついてくるし、この前、伊那小学校に子どもを入れたんだといふ埼玉県の家がいて、で、話があるところから来て、「じゃあ働くところは。」といふことで、「じゃあ、うちの会社で面接してよければいいよ。」といふことで面接したら非常にいい方だったので採用した。あれも産業界の協力といふか、ネットワークがないとできなかったことなので、キャリア教育を通じながら、また、産業界と連携を取りながら、いい機会なので、私も押しながらやっていくことによつて子どもたちの数も増え、人口の異動もあつて、キャリア教育は是非入れたいと思ふます。どうでしょう。いいですかね。

複数委員

いいです。

松田教育委員長

それに関係して、この会には有識者が参加してもいいというふうになっているんですね。例えば、伊那市におけるキャリア教育についてどういうふうにしていくかというときに、それについて造詣の深い企業の方に入っていただいて議論することによって更に深まるので、もう少し会議の構成を弾力的にやっていただくと有り難いと思います。

白鳥市長

いいと思いますね。場合によっては県から来てもらうこともあるでしょうし、文科省だっていいだろうし、いろいろなことを枠にとらわれずにやっていくというのはとてもいいことですね。

松田教育委員長

それから、人口増と教育の関係ですけど、今、伊那市が取り組んでいる「暮らしのなかの食」これの発信の仕方ですね。伊那小はもう30年近くも発信しているので、知れ渡りつくしていると思うんですけど、この「暮らしのなかの食」についても大きく発信していくことによって、新たな伊那市の教育として注目されていくんじゃないかと思うんですね。そういう意味で教育委員会としてはこれを学校で充実していくことを支援していくことがあるんですが、総合教育会議ですので、ほかの部署も関係してくるので、大きく発信していくことを観光課でもどこでもいいですけど、ダイナミックにやっていただくといいなあと思います。

白鳥市長

ちょうどですね。今、地域おこし協力隊がいろんな場所に入っているんで、今度6月22日にキットハウスをいよいよ新山で作るんですよ。で、地鎮祭をやる。その地鎮祭の風景から完成までを、新山の四季や行事を含めてユーチューブでどんどん発信していこうということで考えているようなので、「暮らしのなかの食」もそうした地域おこし協力隊の皆さんに発信してもらってもいいだろうし、別な方法でもいいんで、横断的に全庁的に発信をしていく方法を考えていけばいい。

松田教育委員長

先日、長谷中学校で栽培をした食材を使って給食をやったんですけど、大変おいしく、主事さんも一緒に行ってくれたんですが、テレビにも紹介されたし、新聞にも出たんですけど、ああいうことがどんどん発信されることによって知られていくんじゃないかと思うんですね。

白鳥市長

ちょっと発信の仕方を考えてみてよ。庁議調整会議にかけるようにして。

北原教育長

今、テレビのことが出てきたんですけど、ケーブルさんかなり各学校に入ってくれ

ていますよね。例えば、新山小学校でも去年子どもたちが保育園の子とサツマイモを作ったり、また、パーティをやったり、また、白毛餅を田んぼで作るところから収穫するところまで、新山小ひとつとってもケーブルさんだけでもたくさんありますよね。他の学校さんもありますので、うまく連携して、資料提供もできれば繋がるかなあと思います。

白鳥市長

そこらへんはあれですね。学校ごとのホームページでも得意な先生がいるところはどんどん更新しているけど、そうじゃないところは全然登録したままになっているので、ホームページのあり方とか、今の新山小学校の情報の発信の仕方だとか、ケーブルテレビの扱いだとか、全体のを保存して見ることができるとか、そこらへんのことをちょっと全体で情報発信を考えてみるじゃん。特に「暮らしのなかの食」は、発信の仕方によっては非常に面白い動きが全国からくると思っているんでね。ちょっとあり方について至急検討して考えてみませんか。

平澤委員

総合学習の発表が文化会館であって、一堂に会してやったことがありましたよね。あれも第1回に見た時に非常に感動して、これ、みんなに知らせたいなあという思いがすごくあったんです。参加した子どもたちもすごく感動していたので、確かに伊那小の総合学習は全国に知られていますけど、もう伊那市全体がこういうふうになっているんだということを、せっかくあれだけのことをやっているの、全小学校を集めてやっているの、発信の中には是非それも加えていただければと思います。

白鳥市長

学校の取り組んでいる内容で特徴的なこと、或いは、理念的なもので、知ってほしいものをきちんとかう明確にして、それをどういう手段で情報発信するかといったところ、例えば広報でも一元的にやるのか、或いは教育委員会の中にそういう人がいて、常にそういう情報を集めて色々な媒体を使って発信するのか、どういう方法が一番効果があるのか。どうでしょうかね。

松田教育委員長

この7月の11、12日と台湾から教育使節団がみえまして、この方たちも伊那市の食育に関心を持っていまして、長谷中学校で具体的な実践の様子を観ていただくんですけど、その折に、新山小学校も去年素晴らしい実践をしたので、それを観ていただこうと思っていますけど、海外の人も注目してくれているというのは非常に有り難いことだなあと思いますね。

白鳥市長

これ、至急考えてさ、また、打合せするじゃん。せっかくいいのをあちらこちらでやっているんだけど、その皆さんは知っているんだけど、あとは知らない。その学校は知っているけどあとは知らないとかね。それを発信することによって世界からいろいろなアプローチがあるかも知れないからね。

田畑委員

あと、ひとつどうしてもやってほしいのが、今回の「暮らしのなかの食」っていう取り組みを、まず学校長がお題としてもらった時に、校長先生がどんな形で受け止めて、「さて困ったぞ。」って言って区長に相談に行ったりとか、公民館長に相談したりとか動きがあるんですよ。私、息子が東小学校なんで見ていると、校長先生が「どこに相談に行けばいいかね。」って、「じゃああそこの先生に聞いてみたら。」とか言って、大学の教授だった人でもう退官されている人のところに相談に行ったら、「そんなに悩んでいないで、地元のアスパラをやっている農家の人がいるんで、あその人を先生にすりゃあいぜ。」って言われて行きました。その人も話を振られたときにどんなふうに思ったのかということ、ちょっと「暮らしのなかの食」が振られてから実際に起こったことを、地域の先生を呼んで来て、今日、うちの息子はたまたま当たっているんですけど、「お父さん、畝って知ってる。」って子どもに言われて。「何それ」って言ったら、「今日、松本先生が来て授業の中で畝立てやるんで見に来てよ。」って、たまたまうちの自宅の隣が学校の畑なんです。みんな来て、松本さんが来て「じゃあ畝って知っているかい。」っていうのをやっているんですよ。こういうふうに取り組むと地域の人と一緒にこんな授業が展開できていきますっていうことを、ドキュメンタリー的に撮ってもらったものがあって、「暮らしのなかの食」の導入番組みたいなものがあると、どうやったらそれが定着するのかというのを、私たち視察に行ったじゃないですか。でも、行って見て「はあー、こうだったなあ。」っていう感想も行かなきゃわからないんですけど、でもそういうのを断片的に拾ってもらって、かくして授業の中に展開されたみたいなのを60分番組位なもので作ってもらって、多分新しく来た先生に、「これ見てごらん。こういうふうになれるよ。」と言うと、校長先生もこういう流れでやっているんだというのを、そんなに全校でなくてもいいので、特徴的な学校で出演OKな方がいらっしやれば作ってもらえると最高に活きた教材になっていくという気がします。

白鳥市長

ケーブルテレビにはうちに枠があるので、番組作りをお願いすれば、広報としてできると思う。

田畑委員

多少こう「話が来た時に面倒くさいと思ったんですが、やってみたら本当はこんなんでした。」みたいなリアリティある感じの感想ももらいつつ、やっていけると面白いんじゃないかなあという気がすごくしています。

松田教育委員長

ただ、大事にしてもらいたいのは、学校教育の中でやっていますので、食農の学習と学校の中で行われている教科の学習ですね。それが遊離した形で行われていると多分、長続きしないと思うんです。だから、子どもたちが畑や田んぼに出たりして活動していることと、実際の教科の学習がどういうふうにマッチングしているのかが、一番大事で、そこのところがはっきり見えてくると、「ああ、こういう教育を受けさせたい。」っていうふうになると思うんですが、畑でやっていることと教室でやっていることと全く別々だと「なんだ。」っていう感じになるので、そこのところが一番大事で、校長先生にリーダーシップをとってやってもらいたいってしょっちゅう言っているんですけど、昨日も見せていただいた時に、そこのところだけはし

っかりお願いしてきました。11月の発表の時にはこの活動がどう教科学習に結び付いているのかを重点的に発表してもらいたい。

白鳥市長

そうですね。畝という言葉を知らなかったのが、畝という漢字を覚えたりとか、いろんなことが関係するようなことがあるんで、「暮らしのなかの食」っていうのは、健康だけじゃなくて学習のなかにも入って行けるようなそういう取り組みをやっているだけだよ。じゃあ、キャリア教育のこと、それから、広報というか、情報発信の方法とか、教育に基づいた動きでというのがベースで単に面白おかしくやるのではなくて、常に底流には教育というのが流れていて、その上に立った情報の発信といったものを至急考えていく。

松田教育委員長

すみませんね。30年くらい前でしたか、伊那小学校でポチという犬を飼っていて、それをNHKが1時間近くのドキュメンタリーにした放送があったんですが、それが脚光を浴びて、一躍伊那小が全国に知られるようになったんです。そのテープが多分学校にありますので、それを見ていただくと、どういう構成にすると教科学習とそうした活動がうまく結びついているかが分かると思います。是非参考にしてもらえればいいと思います。

白鳥市長

あと、ジオとかエコっていうあたりをどういうふうに教育の中に取り込んでいくか。さっき聞きながら思ったのは、例えば、孝行猿はいいんですが、観光とか伊那市を広く発信できる取り組みっていうと、ユネスコの中に入っているプログラムなので、そこらへんを発信できるので、ひとつのくくりとして何かできればいいですよ。なんかできないかな。長谷・高遠を舞台としてジオ、エコパークが動いているので、そうしたことを地域の教材として学び合うなんてことができればいい。これ、今日出た意見をまとめたものをまた皆さん集まったところで確認する作業になるの。

北野学校教育課長

そうですね。6月の定例教育委員会で確認して決定します。

白鳥市長

じゃあそれまでに知恵を絞ってよ。

宮脇教育委員長職務代理者

市長さん、先ほど幼保小の連携もお話しされていたんですけど、教育委員会でも3～4年前から取り組んでいるんですけど、それが伊那市の特徴でもあるんで、忘れないようにこういうところに入れておけば、伊那市の特徴ある活動ということで、分かりやすいかなと思うんですけど、まあ、やってはいるんですけど、こういうところに入れるのも大事かなと思います。

白鳥市長

はい、じゃあ、幼保小連携も入って、それが小学校、中学校に繋がっていく。それ

も追加してください。ほかはどうですかね。いろんな意見を出してもらうことが大事だと思いますので、文化芸術的なところ。先日、世界を股にかけて活躍していた大手企業の元社長さんと話をしたんです。元々この出身で伊那のことを良く知っていて、こちらにもよく来たり行ったりするんですけど、「意外なことを申し上げてすみませんけど」という前置きがあって、「伊那市って文化芸術って極めてレベルが高いですよ。」っていうことを言うんですよ。例えば、昨日だってハンガリーブダペストだっけ、「ベルリンフィルが来たり、農村歌舞伎が来たりとか、とても都会では高くて行けないようなものがこちらの地方の伊那にあるというのが本当に不思議だった。そういうのがあると人って居ますよね。」という話をされたんですよ。案外そこら辺って僕ら気が付いていないんじゃないかと思う。いいと思いますよね。ここにスポーツはあるので、文化芸術的なところが入ればどうかなとちょっと思ったんです。東京藝大もあるよね。どうですか。そこらへん意見を。あっ、そうか、今日、あれが来るんです。大阪の四条畷小学校の第一陣が、あいさつしなきゃいけない。どうしましょう。続きは任せていいですか。続きなので、やらんとまずいよね。いったん休止、ちょっと休みましょう。あいさつしたら戻りますので。

#### 【中断後、再開】

白鳥市長

再開させていただきます。先ほどいくつか追加事項があったりして、これを追加する訳ですが、そのほかまだあるようでしたらお出しいただきたいと思います。

宮脇教育委員長職務代理者

雑談していたんですが、27年度の重点施策ということで、網羅的になっちゃうと1年ごとのあれなんで、あまり増えすぎない方がいいかなということがあるので、このくらいでどうでしょうか。

白鳥市長

「暮らしのなかの食」とか、キャリア教育、文化振興の統一、バーチャルネットワークもあるし。

宮脇教育委員長職務代理者

ほかもやっていないわけではないので、重点施策に乗っていないというだけで、もうちょっと整理した形でいいと思うんですけど。

白鳥市長

そうですね。この中にも軽重があるとは言いませんけれども、重点として取り組んでいくものと毎年取り組んでいるうちの一つというものもあるので、そのように分けて分かりやすく整理すると、先ほど出されたものを含めてもう一度作りなおして、次回決定する。

北野学校教育課長

6月の定例教育委員会で決定させていただきたいと思います。事前に市長さんとお打合せしたいと思います。



白鳥市長

ではそのようなことでよろしいでしょうか。

松田教育委員長

いいですか。定例教委で決定するということで。

白鳥市長

もっと前の方がいいですか。

松田教育委員長

そういうことではなくて、総合教育会議の場で決めなくてもいいですか。

北原教育長

第2回の会議もありますので、その場で決めることもできるかと思いますが。

北野学校教育課長

27年度も既に時間が経過しておりますので、そこまで伸ばさない方がいいかと思っています。

北原教育長

分かりました。

白鳥市長

もっと前にできないの。(次回は、)6月、7月。

北野学校教育課長

総合教育会議ですか。次回、8月を予定しています。

白鳥市長

向こう過ぎない。

北野学校教育課長

今日議論いただいたものを修正のうえ、事前に市長に目を通していただいたうえで、6月の定例教育委員会で決定できればと思います。

白鳥市長

ああ、それでいいですか。

松田教育委員長

いいですか。

北原教育長

いいですね。

#### (4) その他

白鳥市長

そのほか(4)であります。今、情報共有でいうと、伊那市のプロモーションビデオを作っています。文化芸術大使の柘植伊佐夫さんとか、音楽は高遠出身の天山さんとか、ケーブルテレビで今南アルプスを撮影したものを放映していますよね。あれを撮った人も入ったりして、それを春夏秋冬4つ作ってやろうということで、東京の山手線は高いので、成田エクスプレスだとかああいうようなところで、トレインチャンネルで流す。伊那市のホームページもだし、新宿のアルタのアルタビジョンで流したりとか、どちらかというと伊那市の教育に重点を置いた構成にして作っていますので、それができるとまた注目されてくると思っています。柘植さんも今、大変忙しいんですよ。NHKで、でも楽しくてしょうがないって言ってしょっちゅう来ています。

松田教育委員長

先日、長谷小の運動会を撮っていました。

白鳥市長

子どもたちの歌を撮れって言ってあるんですよ。膨大な量になっているので、その中からどういう選択をするのか、楽しみにしています。

松田教育委員長

「暮らしのなかの食」も撮ってくれるんですかね。

白鳥市長

是非、是非。そのほか、全体を通してどうでしょうか。

宮脇教育委員長職務代理者

教育委員会ですと非公開で、学校事故速報とか、給食の異物混入の話とか、不登校の話をしているんですが、そういう話っていうのは、委員会の中ではしているんですが、市長さんの方にも報告されているんですか。

白鳥市長

みんな来ています。

北野学校教育課長

不登校等については、報告していません。

白鳥市長

給食関係については、かなり細かくて、分析もさせて、対応もさせ、大分減っては来ていると、場合によってはゼロという月もある。業者も変えたりね。

宮脇教育委員長職務代理者

あと、いじめの報告みたいなものはどうですか。

白鳥市長

いじめはないね。

宮脇教育委員長職務代理者

内容はわかりませんが、今回の総合教育会議の中で「児童、生徒等の生命・身体に現に被害が生じ」ということがひとつの目的に始まっているので、そのあたりのことは市長さんもある程度現状を理解して、共有していただいていた方がいいのかなという気がします。

白鳥市長

そのあたりはどうなの。

北野学校教育課長

毎月の定例教育委員会の中で、指導主事の先生がまとめてくれていますので、報告できます。

宮脇教育委員長職務代理者

全く何も知らないでぽっと何か事件が起きてもいけないと思うので、もし、何かあった時には、今までどういふことをやっていたか共有できていた方が対処できるのではないかと思います。

白鳥市長

確かに。

松田委員長

大事なことを言っていたと思います。

白鳥市長

それともうひとつあの、今、指示しているのはアレルギー食。これについては深刻ですよね。今全校で300人くらいいるのかな。で、全部違うんですね。場合によっては死に至るような重篤なアレルギーを抱えている子もいるので、給食がここに対応しているけど本当にいいのかと。給食におけるアレルギー事故は、ヒューマンエラーによって絶対起きちゃいけないんだよね。場合によっては、給食施設の整備をしている中で、拠点をいくつかに分けてそこで作ったものを持っていく。100%絶対間違いがないようなそうした専門の人を充ててやっていくようなことも考えなきゃいけないかなあと思っている。このことも次回あたり話ができればと思います。

松田教育委員長

今、西箕輪の給食は弁当になっていて、小学校で6名、中学校で3名、合計9名なんですけど、これは専門の栄養士に作っていただけて非常に感謝している。あの位徹底すれば間違いはないと思う。

白鳥市長

本当に昔とは違った環境というか、いっぱい出てきているので、あまり悔っていると大変なことになっちゃう。この給食も課題にしたいと思っています。ほかにはよろしいでしょうか。

全委員（なし）

白鳥市長

はい、では以上をもちまして第1回総合教育会議を終了とさせていただきます。ご苦勞様でした。